

# 研修員's VOICE

Vol. 6

世界各国からJICA沖縄にやって来た  
研修員を紹介しています。



氏名: Ms. BOIMA Theresa Mariama (テレサさん)

国名: シエラレオネ共和国



コース名: 地域保健システム強化による感染症対策(B)

滞在期間: 2017年9月13日～ 2017年11月3日

## シエラレオネってどんな国ですか？

大西洋に面する西アフリカ西部に位置し、北部はギニア、南東にリベリアと国境を接しています。面積71.7km<sup>2</sup>、人口700万人で15の部族と言語が存在します。人口の約60%が農業に従事、近年は漁業や鉱業、観光業も盛んになってきましたが、女性や青年層の失業率が深刻です。西アフリカ最古の高等教育機関フォーラ・ベイ・カレッジ(1827年創設)が首都のフリータウンにあり、現在はシエラレオネ大学の一部となっています。



首都フリータウンのマーケット

## JICAでの研修の目的は？

シエラレオネは他の熱帯諸国と同様にマラリア、結核、HIV、熱帯病等の感染症と戦っています。沖縄県における感染症対策の成果と経験を学び、他国から参加した研修員と問題や対策を共有することを期待して研修に参加しました。研修で得た知識や技術を同僚と共有し、保健省と協力して費用効果の高い公衆衛生活動を実施していくことが母国の感染症対策に有益であると思います。



アフリカ諸国から参加している研修員たち

## 日本で印象に残っていることは？

家庭ゴミの分別やどこの施設でも清潔なトイレがあるのは非常に印象的で、それが日本の感染症管理成功の一因であると確信しています。

研修旅行で訪れた仙台では、東日本大震災について語り部ガイドの話を聞き、荒廃の写真を見て心を痛めました。震災発生後、石巻市で唯一機能していた石巻赤十字病院の災害医療活動、感染症対策等は目を見張るものでした。



研修旅行で訪れた石巻赤十字病院